



KANAMORI
Alloy

since 1714

本資料は、投資家が匿名組合契約の
申込みにあたり、必要な営業者情報を
営業者が独自にまとめたものであり金
融商品取引法による法定開示情報で
はありません。

KANAMORI

会社名 株式会社金森合金
事業内容 アルミ・銅合金製品の casting と製作
創業 正徳4年（1714年）
代表 代表取締役 23代目 金森和治
所在地 〒920-0348 石川県金沢市松村6丁目100番地
TEL 076-267-3003
MAIL info@kanamori1714.jp
HP <https://www.kanamori1714.jp>
担当者 24代目 高下裕子

History

- 1611年 加賀藩主前田利長が越中国射水郡高岡金屋町にて、
金森弥右衛門を含む御鋳物師7人衆を招き鋳物の生産を開始。
- 1714年 金森八郎右衛門が屋号「釜八」とし、鋳物商を創業
- 1911年 石川県金沢市に移住し、産業用機械部品の生産を開始
- 2019年 金属素材そのものが持つ機能性を活かし、生活のシーンを美しく彩るライフスタイルブランド「KAMAHACHI」スタート



Our Circulation Manufacturing

江戸時代から引き継がれる循環型ものづくり

300年の歴史を誇る金森合金は、創業以来自社内精錬技術による

「循環型ものづくり」を継承してきました。

ロケット部品素材の供給を実現させた高精度な精錬技術を強みに、純素材や廃盤となった製品、削り粉などを配合・溶解し、日本産業規格に適合した素材に循環させています。

「アルミ合金」の場合、新聞印刷時に使用されるアルミ版を800° Cの高温で溶解、不純物を除去し高純度アルミニウムを生成することで、製品へと生まれ変わります。

金森合金はこれからも循環型社会の構築に寄与する製品・サービスを提供するとともに、次世代に向けた環境保全と循環型ものづくりの継承を目指します。



・新聞印刷用の刷版



・インゴット（純素材）



・廃番となった製品



・削り粉

Industry



arts and crafts - Copper

針のない剣山 ～フラワーアレンジメントに新たな可能性を～

銅イオンの抗菌効果により水の腐食を防ぎ、花の命を167%長持ちさせます。凹部に茎を挿す構造で、針がなくコンパクト。お子様でも、ペットがいても安心して使うことができます。約6,000年と言われる耐久性、金のような高級感のある風合いがオブジェのように、その存在の魅力を放ちます。



How To <https://youtu.be/vBEzslwgE2k>

arts and crafts - Copper

- ・一輪挿しでも、多くの花でも挿すことができます。それ自体がオブジェのような佇まいで、剣山のように隠す必要はありません。
- ・生花、枝もの、観葉植物など様々な植物に使用できます。ガラス製の器でモダンに、陶器製の器でクラシックに。
水盤を変えることで、お部屋のイメージに合わせて印象を変えることができます。



arts and crafts - Aluminum

Sweets plate ～日本の食の繊細さを うつわで仕上げる～

「ひんやり」をキープしてくれるアルミ鋳物のスイーツプレート。アルミ合金は熱伝導性が良く、冷蔵庫で冷やして使うと効果的。デザートやアペタイザーのおいしい温度をキープしてくれます。割れない、壊れない耐久性のある素材です。



Open factory

アルミ鋳物に刻印ワークショップ

新聞印刷版を自社内精錬しアップサイクルするアルミ鋳物。カトラリーレストや菓子切りから好きなデザインを選び、ハンマー／アルファベットと数字の刻印器を使い、自分だけの模様や名入れ刻印する体験を行っています。



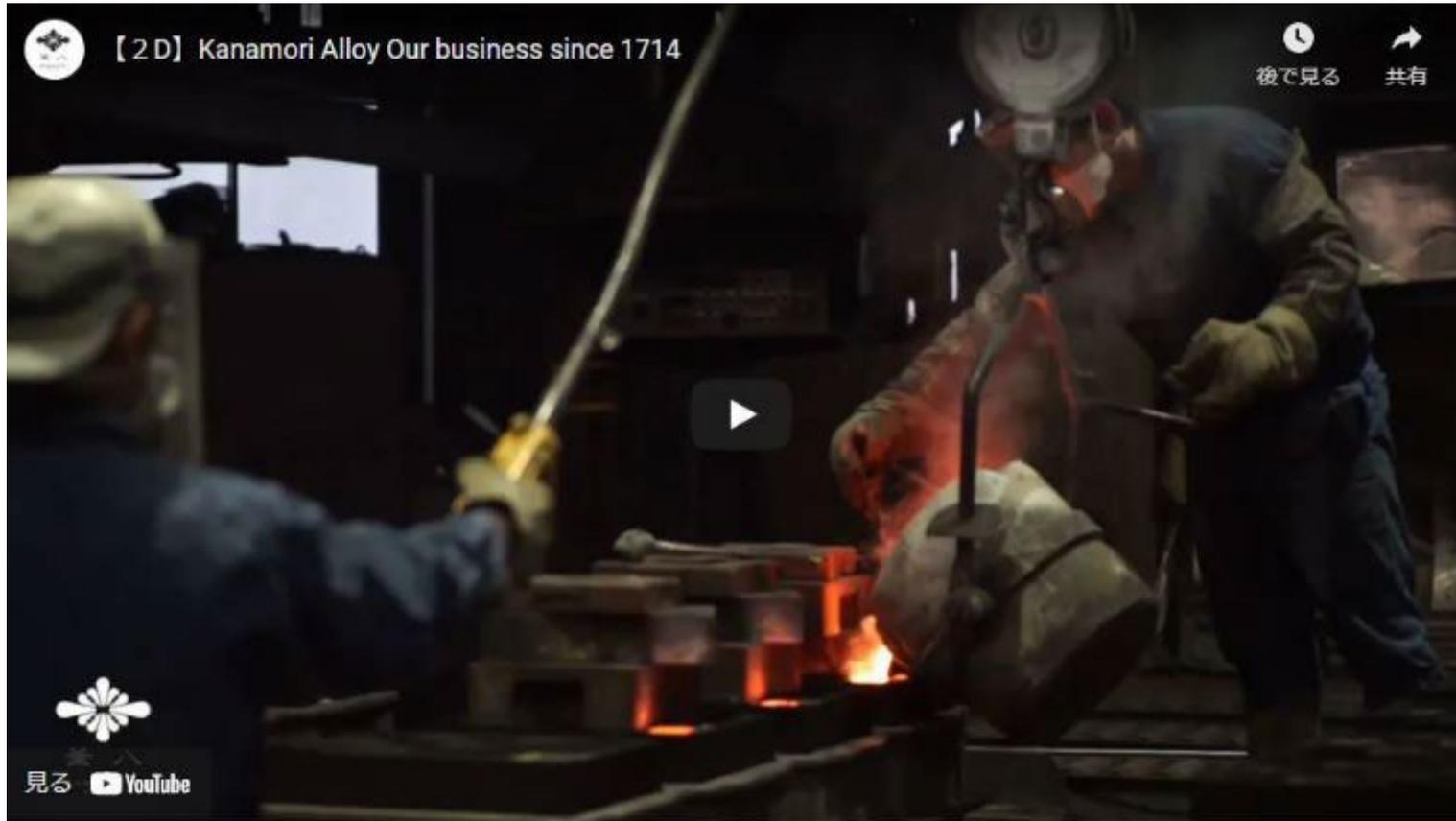
Ikebana Workshop

針のない剣山

2019年に広州市、深圳市で商品を使用したワークショップ体験を行いました。現地で活動する生け花の先生に、その土地でよく使用される花をご用意頂き、商品の使い方、水盤を変えることでの印象の変化等を学びました。体験を通じて、参加者が自宅で気軽に楽しむきっかけを作ります。



Traditional Sand Casting



Youtube <https://youtu.be/oN7IRoPZ7PY>

HP <https://www.kanamori1714.jp/sandcasting>

Message

300年の歴史を積み重ねてきたわたしたち

次の300年につなぐ

「工業 × 工芸」のものづくり

1611年（慶長16年）加賀藩主前田利長に技術を認められ、高岡鑄物の礎を築いてから400年。調度品や武具、梵鐘といった装飾・鑑賞性の高いものだけではなく、金森の職人が製造した鍋釜は市民の台所で欠かせない道具となりました。

江戸時代から今日まで脈々と受け継がれてきた砂型鑄造技術は、その時代に応じて必要とされるものにカタチを変え、強度のある素材へと精錬を続けています。

ロケット部品素材を供給する工業の分野から、生活のシーンを美しく彩るライフスタイル分野まで、人々の生活に寄り添う道具作りの基本は変わりません。

地球上で限られた鉱物を循環し、シンプルなカタチで皆さまにお届けする。金属が固体から液体へ、また固体へと変化を遂げるように、世の中のニーズを柔らかく受け止めながら、次の300年に残すべきものづくりを続けて参ります。



Reference) Financial information.

単位（千円）	2022年5月期	2021年5月期	2020年5月期
売上高	88,758	98,087	105,302
経常利益	3,413	13,598	6,183
純資産	47,741	46,388	32,881
総資産	87,496	70,514	64,777

注) 決算月は5月です。上記財務情報については、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。